

非常用動力装置・環境関連商品に販売注力

株式会社アルティア

今回は自動車関連機器や非常用動力装置の開発から製造・販売・施工・アフターサービスに至るまで、自社で一貫して取り組む「株式会社アルティア（佐藤正幸代表取締役社長、東京都江戸川区西葛西7-20-10）」取材した。今年で創業75年目を迎えた老舗企業である。経営理念として、「時代をリードする価値ある商品・サービスを提供し、美しく豊かなクルマ社会の実現に貢献する」ことを掲げている。

内発協の認証品である「非常用動力装置」や産業用エンジンといったパワーシステム機器を取り扱うほか、車検用機器、車輛用リフト、洗浄機などの自動車整備用機器、タイヤ・ホイール用の全自動アッセンブリー装置、ブレーキ用の液物充填装置などの自動車製造用機器を製造・販売している。一方、ユーザーの省エネ意識や環境意識の高まりを受け、業界に魁けて1988（昭和63）年10月から、NOx排出量が少なく熱と電気の高効率利用を図れる「ガスコージェネシステム」の販売事業に着手し、現在も同システムのメンテナンス事業を行っている。進取の気性に富んだアルティアの取り組みを紹介する。

創業の経緯

アルティアの創業は1937（昭和12）年2月22日。当時の親会社である日産自動車が乗用車ダットサンやトラックの販売拡大を目的に、販売部門を分離独立し設立した子会社「日産自動車販売株式会社」として事業をスタートした。1956（同31）年6月、自動車本体の販売業務を親会社の日産へ移管、それ以降は自動車に搭載される動力用エンジンや純正部品、整備用機械工具、テスターなどの設備機器、工具の販売に特化した。翌57（同32）年8月、ニッサンフォークリフト本体や純正部品の販売を開始、建設機械の販売に乗り出した。

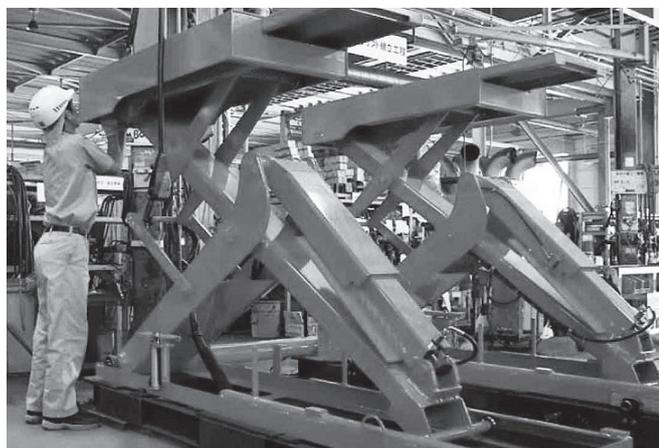
1970（昭和45）年8月、東京・神奈川におけるニッサンフォークリフトの販売営業権を日産リフト東京販



左から佐藤正幸社長と戸井田和彦会長



株式会社アルティア本社ビル



車輛リフト

売株式会社へ譲渡した。1984（同59）年10月、親会社の日産へモータースポーツ用の自動車部品・用品の販売権を移管した。その後1986（同61）年10月、日産プリンス自動車販売と統合するなど、日産自動車販売は、自動車関連分野に特化して事業拡大を図ってきた。1990（平成2）年5月、自動車製造用機器分野の新規商品として「全自動タイヤアッセンブリーシステム」「全自動液物真空充填装置」を開発し発売した。

1991（平成3）年10月、社名を「日産自動車販売株式会社」から「日産アルティア株式会社」へと変更した。2001（同13）年11月、親会社の日産から独立、併せて、社名を「株式会社アルティア」へと変更した。アルティアは2004（同16）年4月、橋本フォーミング工業株式会社と共同で、新たな持株会社「株式会社ファルテック」を設立した。それに伴い、両社は、ファルテック傘下に入った。

2005（平成17）年2月、ファルテック傘下企業の経



非常用動力装置

営効率化の推進を目的に、アルティアと橋本フォーミング工業は合併、「株式会社アルティア橋本」となった。2007（同19）年10月、アルティア橋本から部品事業・用品事業を持株会社のファルテックへ移した。同時に、自動車関連機器事業を、再び株式会社アルティアへ戻すとともに、子会社「オリオンテクノ株式会社」を吸収合併。現在に至っている。

事業の変遷

アルティアでは現在、「パワーシステム事業」「機工事業（自動車整備機器事業）」「機器事業（自動車製造用機器事業）」を事業の三本柱としている。

パワーシステム事業では、内発協の認証品でもある「非常用動力装置」は推定市場シェア80%（12kW～1,000kW）を占めるといふ。プラント、石油基地、病院、大型商業施設、マンションなどで採用されている。

機工事業では、「車検機器」「車輛リフト」「車輛診断機」「洗車機」などを官公庁及び関係団体、自動車販売会社、部品販売会社、石油元売会社、整備事業者向けに提供している。

機器事業では、自動車生産ライン設備の「タイヤ自動組立装置（8サイズのタイヤに対応可能）」「液物真空充填装置」「テスター装置」を一括受注できる体制を、業界で唯一整えたという。日産、スズキ、ホンダ、富士重工、ダイハツといった国内外の自動車メーカー向けに提供している。

同社の製品内製化を推進する生産拠点として福島県浜通り地区のいわき市に「いわき事業所」、ASEAN地区拠点としてタイ国首都に「バンコク事務所」を持つ。資本金3億5,000万円。本社、北海道～沖縄までをカバーする8支店、2事務所、いわき事業所を合わせた国内従業員数294人。

環境商品に販売注力

2011（平成23）年3月の東日本大震災を機に、アルティアでは被災地向けに「非常用エンジン動力装置」「非常用モーターポンプセット（消火装置）」に加え、各種装置用の「自動盤」といったパワーシステム機器の需要が伸びたという。2011（同23）年度売上高は、2010（同22）年度実績と比べ、約1.3倍に急増した。これら製品の速やかな供給を継続し、企業における社会的責任を果たしていく。

一方、福島原発事故以降、電力各社の原子力発電所の稼働停止が相次ぎ供給力不足が懸念される中、企業から家庭まで幅広い消費者の間で一層の節電対策が求められている。アルティアでは節電対策と環境対策を両立できる「エコ製品2タイプ」の販売を強化していく。一つはハイブリッド発電システム「エコドリ君」。もう一つは自動屋根散水システム「ひんやり涼ルーフ」。

今年4月販売開始した「エコドリ君」は風力発電、太陽光発電、蓄電池、LED照明を搭載した画期的な自立型発電システム。木製の羽根（ブレード）を採用したことで軽量化を実現。風速2～3mの市街地でも発電でき、38W型LED照明を15時間連続点灯可能。商用電力の無い駐車場の照明や、災害時の非常用電源として利用可能という特長を持つ。

今年7月販売開始した工場など向けの「ひんやり涼ルーフ」は自動車用洗浄機の水噴霧技術、検査機器のセンサー制御技術を応用し商品化した自動完結制御の屋根散水システム。屋根に散水した気化熱で、室内の熱環境を改善する。温度センサー、雨センサー、スプリンクラー4基を標準装備し、約400㎡の散水面積をカバー可能。自動で起動・停止する。

今後、エアコン室外機用散水システムも商品化し、これら3製品の販売に注力していく。

上はエコドリ君、下はひんやり涼ルーフ



問い合わせ先

非常用動力装置：パワーシステム事業部 03-5659-8172
エコドリ君、ひんやり涼ルーフ：機工特販部 03-5659-8220